

Hokkaido Environmental Management system Standard

北海道環境マネジメントシステムスタンダード



HESとは

国際規格であるISO14001を基本とし、
中小企業や各種団体等、多くの組織が容易に取り組める
環境マネジメントシステムとして（一社）北海道商工会議所連合会が中心となり
経済団体・環境関係団体・行政機関（北海道・札幌市）の協力を得て構築し、
より分かり易く、より安価で、より取り組みやすくしたもので
環境保全の取り組みと経営の安定を支援するためにつくられた環境規格です。



エイチ・イー・エス推進機構
<https://www.hokkaido.cci.or.jp/hes/>



H E S

認証企業取り組み事例掲載

認証登録制度

HES策定趣旨

経済の高度成長は、大量生産・大量消費・大量破壊という社会経済システムを作り出し、人類に便利で快適な暮らしを提供してきましたが、その反面、自然環境に多大な負荷を与え続け、地球温暖化やダイオキシン等の有害物質・大量の廃棄物発生へとつながり、私たちを取り巻く地域の環境のみならず地球全体の環境をも脅かすものとなってきています。

北海道に住む私達は、豊かで優れた自然環境に恵まれたこの大地から数多くの恩恵を受けてきましたが、この恵まれた環境を全ての人の財産として将来へ引き継いでいく責務を有しており、そのためには、今までのような20世紀型の社会経済システムから「環境の世紀」にふさわしい最適生産・最適消費・最少廃棄の社会である「持続可能な循環型社会」へと変えていかなければなりません。

このような社会の構築に向けては、個々の活動に留まらず、事業者、消費者、行政などが一体となって、問題解決のための具体的な行動を起こすことが重要となってきています。特に社会経済活動の中心となる企業活動においては、環境問題の深刻化に伴い、エネルギー対策・産業廃棄物等をはじめとする環境への取り組み姿勢が企業の存続にとって大きな課題となってきており、近年、その取り組みは「社会貢献の一つ」から「企業の業績を左右する重要な要素」あるいは「企業の重要な戦略の一つ」として事業活動の中に取り組みでいく動きが拡大しつつあり、事業者の環境経営の重要性に対する認識が、環境の保全とともに地域経済の活性化を可能とするものと考えられます。

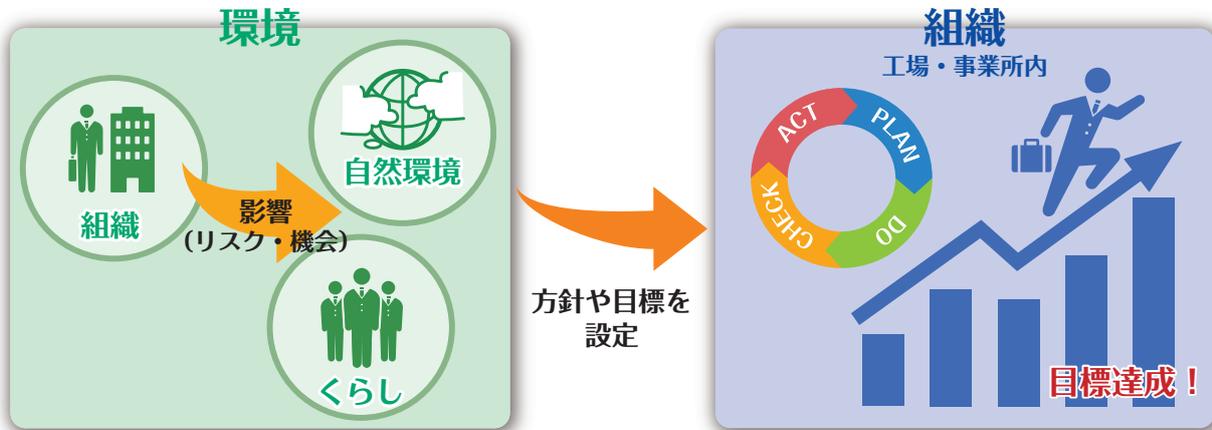
組織における環境への取り組みについては、ISO14001に代表される国際的な共通の規格に基づき、公正な観点から企業や団体の環境への取り組みを客観的に評価し、認証するシステムが標準化されており、認証取得する組織も増えてきておりますが、グローバルスタンダードとしてのISO14001の規格は、規模的・経済的・時間的等さまざまな理由で認証取得に取り組み難い組織が多くあることもまた事実です。

このため、このような状況を打開し、環境問題へ積極的に取り組む組織の底辺拡大を進め、環境と経済の両立を図るとともに、環境活動の輪を広げ、次世代へ良好な環境を継承することができるよう、中小企業や各種団体等多くの組織が容易に取り組みめるローカルスタンダードとして構築したのが「北海道環境マネジメントシステムスタンダード(HES)」です。

環境マネジメントシステムとは



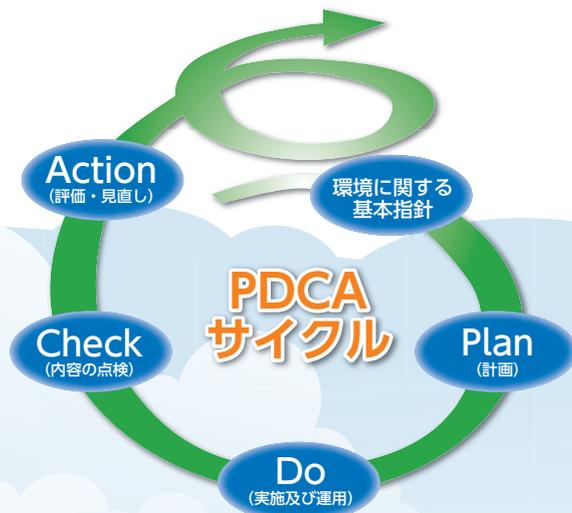
組織が事業活動を行う上で、環境に与える「影響(リスク・機会)」や、環境保全に関する取り組みを明確化して環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」といいます。このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組み(PDCAサイクル)を「環境マネジメントシステム」といいます。



HESのシステム



継続的な改善



HESはP→D→C→Aのサイクルを回す事により、環境保全活動の継続的な改善を図り、レベルアップしていくシステムです。

Plan 環境に関する各種取り組みの計画

事業活動が環境に与えている影響を洗い出し、それに対し何をすべきなのか計画を立てます。

Do 計画に基づいての実施及び運用

具体的な手順を定め、計画を実施します。

Check 実施・運用した内容の点検

計画と実施した内容を点検し、予定していた成果を満たさなかった場合は、改善策を実施します。

Action 最高責任者による評価

会社の最高責任者が計画等の変更の必要があると判断した場合、見直しの指示を出します。

HESの特色



■取り組みやすい

- ・組織の実態に即して、3種の規格があります。
- ・構築の手引きやマニュアルサンプル等を用意しています。

ステップ1: 環境問題に取り組み始めた段階

PDCAを回す最小限の範囲で、要求事項を簡素化しています。

ステップ2: 環境問題への高度な取り組み段階

要求事項はISO14001とほぼ同等です。

産業廃棄物処理業者用システム規格

「産廃処理業者認定制度」に有効となる、産業廃棄物処理業者のための規格です。

■導入しやすい

- ・安価に取得することができます。



1 活動組織づくり

2 環境影響要因調査

自社の活動の中で環境に影響を与えている実態を明確にします。

3 法的及び組織が同意するその他の要求事項の調査

自社の活動に対する法規制等の制約を特定します。

4 法的及び組織が同意するその他の要求事項の順守評価

5 著しい環境影響要因及び重要環境改善活動項目の特定

自社の活動により環境に影響を与える項目の中で著しい項目を特定します。

6 環境に関する基本方針の作成

環境への取り組みの基本的な考え方を定める「環境に関する基本方針」を作成します。

7 環境目標の設定、具体的な計画の作成

著しい環境影響要因項目の中から環境目標を設定し、具体的な計画を作成します。

8 環境マネジメントマニュアルの作成

環境に関する基本方針や取り組みの計画などを記載した社内マニュアルを作成します。

9 活動スタート

教育、訓練や環境改善活動を実施します。

10 審査登録申請準備

11 自己評価の実施 (ステップ2のみ)

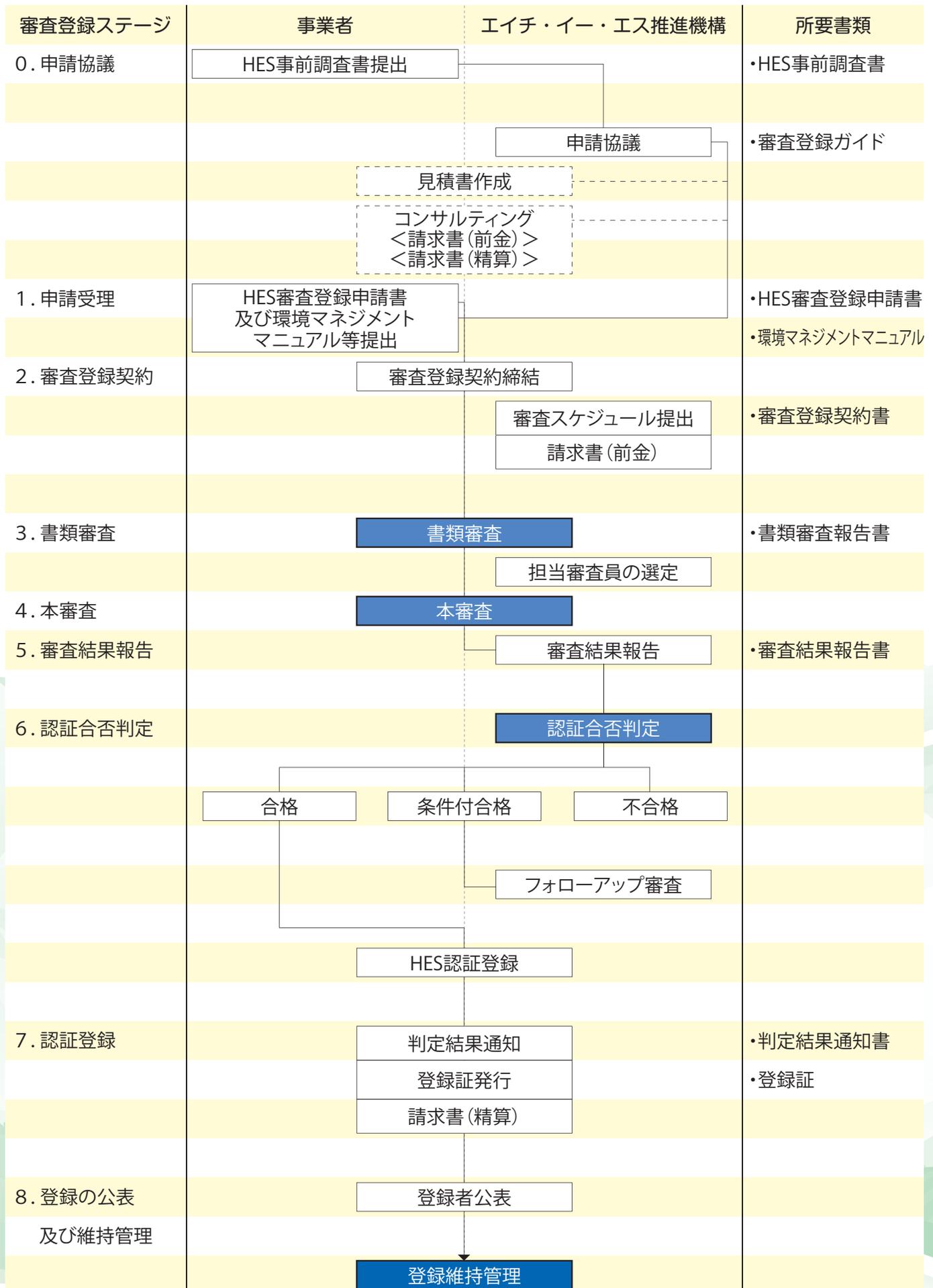
システム、法規順守、環境改善活動の進捗等を自己完結で評価し最高責任者に報告します。

12 最高責任者による評価

環境マネジメントに関する活動全般を最高責任者が評価し必要に応じて見直しをします。

13 実地審査受審

14 審査登録



HES認証登録事業所の 環境取り組み事例

環境経営に対する取り組みは様々です。

HESに認証登録している組織は、環境に配慮した取り組みを通じて、環境負荷の低減・コスト削減・従業員の環境に対する意識の向上に努めています。

- ◎建設業では…産業廃棄物の適正管理、低騒音・低振動の建設機械使用など
- ◎廃棄物処理業では…廃棄物の資源化、重機の効率稼働、低騒音・低振動の重機使用など
- ◎製造業では…システムの改善・開発、省電力の設備導入など
- ◎卸売・小売業では…商品管理の効率化・商品保管の安全な管理など
- ◎情報通信業では…システムの改善・開発、省電力の機器導入など
- ◎サービス業では…省電力の設備導入、車両の点検・管理など
- ◎学校では…環境教育活動、環境教材の作成、清掃ボランティアなど

多くの組織に環境経営に取り組むこと(=HES認証登録)への必要性をご理解いただければと存じます。

HESステップ1
HES1:0009

株式会社流研

当社は、業務用ソフトウェア開発およびそれに係るサービスの提供を行っています。ワークライフ・バランスにより仕事と家庭の両立を目指した活動にも取り組んでおります。また、令和3年9月には、SDGs宣言をし環境への配慮を含め、SDGsの達成に向けた取り組みを実施しております。

HES認証登録は取引先の意向とルール作りに基づく経費削減と環境保全を目的として、平成18年に開始致しました。

当社における環境方針のもと、省エネルギー、省資源、廃棄物削減を目的に一般廃棄物の分別徹底、こまめな消灯、認証システム複合機導入、また再資源化の取り組みとしてエコキャップ、リングプル収集等の活動を行っております。グループウェアの確立により社員への情報伝達を確実に行える環境が整いましたので、全社員への周知徹底が可能となりました。

最近では朝礼をオンラインで実施しておりますので、「グループウェア」と「朝礼」を上手に活用して環境保全に係る取り組みを伝えていく方法を模索中です。

これにより次世代へ環境マネジメントシステムを継承し、会社としてだけでなく、個人レベルでできる環境保全についても社員ひとりひとりの更なる意識変化を求めてまいります。



所在地 札幌市中央区北1条東2丁目5番地 札幌泉第1ビル6F
創立年月 昭和57年8月
TEL 011-232-1371
FAX 011-232-1256
E-mail info#2020@ryuken.co.jp
URL http://www.ryuken.co.jp

HESステップ1 HES1:0035

土屋工業株式会社

当社は昭和32年、土木・建築工事業で営業を開始し、昭和48年にはガソリンスタンドを開設、オホーツク管内で地域に根ざした企業活動を継続してまいりました。

「企業活動には環境活動が必要不可欠である」という社長の考えから地域清掃ボランティアに取り組んだことよって、環境保全活動への関心が高まり、HES認証取得のきっかけとなりました。

当初は電気、紙、社有車の燃費等を目標に始めた活動ですが、当社の本業である建設工事で環境目標が設定できないか検討し、現在では労働災害ゼロ、交通事故ゼロ等を環境目標に設定して事故発生による対応や再発防止活動に係るエネルギー使用量を減少させることとし、定期的に安全教育や協議会、点検を実施し、安全と環境負荷削減に努めております。

その成果もあり、環境に係る事故やクレームは減少しております。

また、LED照明やオンライン設備、エアコン、ドライブレコーダー等の設備投資を行い、社員がより快適な環境で安全に作業できるよう努力しております。

HESの認証取得を受けずで10年以上経ちましたが、新

型コロナウイルス感染症の状況や業界・環境対策の動向を踏まえ、HESを活用しながら環境負荷の低減を図り、資源循環型社会の構築を目指してまいります。



ボランティア清掃の様子



安全衛生委員会 雇入教育の様子

所在地 網走市北5条西7丁目14番地
創立年月 昭和32年2月25日
TEL 0152-44-7321
FAX 0152-44-2347
E-mail info@yama11.jp
URL https://www.yama11.jp/

HESステップ1 HES1:0051

恵庭建設株式会社

恵庭建設は、昭和31年の創業以来、土木工事・建設工事を主体として「人と暮らしを見つめ地域社会への貢献」を企業テーマに、暮らしやすい環境、豊かな社会づくりに貢献してまいりました。

当社は、平成11年にISO9001(品質)の認証を受け継続して取り組んでまいりましたが、品質だけではなく、環境への取り組みも必要であると考え、HESの認証に至りました。

環境改善活動として、電気使用量の削減や森林認証紙の使用、裏紙の使用、ドライバーへのエコドライブを実施しております。車載機により走行距離・ガソリン消費量等を管理・評価し、長時間のアイドリングや高燃費のドライバーには声掛けを行い、改善を促しております。また、当社は、北海道が実施している地球温暖化対策のための「北海道クールあいランドキャンペーン」「北海道あったまろうキャンペーン」に参加し、過度な冷暖房の使用を控える取り組みをしており、平成29年～令和元年の電気使用量は目標に対し100%達成しており環境保全に大きく貢献できたと考えております。

この他、平成23年より地域の快適な環境づくりを目的とした行政との協働美化活動である「アダプトプログラム活動」の取り組みを開始し、恵庭市内を流れる茂漁川河川敷地内の清掃及びごみ拾いを定期的実施しております。

令和3年8月にはSDGs宣言を行い、持続可能な社会の実現に引き続き、取り組んでまいります。



アダプトプログラム活動(河川清掃)

所在地 北海道恵庭市泉町26番地
創立年月 昭和31年2月29日
TEL 0123-32-3261
FAX 0123-33-8738
E-mail info@eniken.co.jp
URL https://www.eniken.co.jp/

HESステップ1 HES1:0082

株式会社谷組

当社は上川郡下川町に本社を置き(名寄市に支店)、昭和16年4月に土木工事業として創業し、今年で創業81年を迎えます。従業員数は34名、地域一番の建設業、地域に愛される建設業を目指し様々な地域貢献活動を展開しております。昨年(令和3年)には、経営理念、企業理念のもと国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」を企業行動につなげ、地域の皆さんから信頼され、持続可能な地域社会の創造に貢献できる企業となれるよう、持続可能な成長戦略として「SDGs宣言」を行いました。

環境活動の取組について平成24年にHESを取得し、紙・ゴミ・電気の削減など基礎的活動から環境活動を始め、現在では作業に携わる車輛の燃費向上、ハイブリットカーの積極的導入による化石燃料の使用削減に取り組んでおります。

また、地域貢献活動として、町の一斉美化運動、町道路面清掃活動など国や道、町が主体となつて行う環境活動に職員が積極的に参加しており、環境保全活動として、地元の小学生を対象とした「ほんわか教室(出前講座)」を年に1度開催し、自然の大切さや水の大切さ、ダム必要性などを現地です説明した後、近年多発している自然災害の恐ろしさや、川を綺麗にするために必要な事など、「児童と一緒に環境を考える場」の提供を受けて実施しております。

今後も更なる地域貢献活動、環境保全活動を継続し、HES活動の目的達成のため取り組んでまいります。



ほんわか教室(出前講座)

所在地 上川郡下川町西町88番地 2
創立年月 昭和16年4月
TEL 01655-4-2595
FAX 01655-4-2596
E-mail info@tanigumi.co.jp
URL http://www.tanigumi.co.jp

HESステップ1 HES1:0101

徳井建設工業株式会社

当社は帯広市に本社のある建設会社で、主に国・北海道の公共工事を受注し、社会のインフラ整備や災害復旧等を通じ、地域の安全と安心を守ることを使命と感じ、地域に貢献できる企業づくりに取り組んでおります。基本理念である規律、秩序、礼節を重んじ「誠心誠意」をモットーに、「地域に愛される人づくり」「社会に愛される会社づくり」を会社方針として、地域と共に発展に努めております。

環境負荷低減を実現すべく事業活動を推進する目的で、平成20年にISO14001の認証を取得し、その実現に向けた環境経営を展開し、地球環境への貢献をめざし、継続的な環境活動に取り組んでまいりましたが、北海道建設工事等競争入札参加資格審査における加点及び更なる環境保全への意識向上を目的に、平成25年にHESを認証取得致しました。

環境改善活動の取り組みについては、①低炭素地域づくりの推奨、②車優先社会からの転換、③ごみ減量の推進、④廃棄物適切処理の推進、⑤自然とのふれあい推奨、⑥緑化と美化の推奨、⑦親しまれる水辺の創出の7つを柱に、不要な残業防止、ペーパーレス化の推奨、自然と触れ合うイベントの支援などに取り組んでおります。特に地域貢献活動に尽力しており、各工事において地域住民からの苦情件数はゼロ件となっていることに加え、感謝状をいただいております。

今後もHESを継続して行い、目標管理の徹底、社員の意識向上を促し、環境保全活動に取り組んでまいります。



歩道で花いっぱい活動

環境教育支援活動

所在地 帯広市東9条南8丁目1番地 2
創立年月 昭和20年4月
TEL 0155-26-2211
FAX 0155-26-2247
E-mail tokui-honsya@tokuikensetsu.jp
URL http://tokuikensetsu.jp/

HESステップ1 HES1:0104

鈴木工業株式会社

当社は、創業以来、「社員やその家族を守り、幸福にする、そして、正しい道を歩み、社会に信頼され、貢献できる会社を目指す」ことを経営理念とし、土木工事業を通じた社会インフラ整備を主に、その他「地域の守り手」として災害時の復旧作業や周辺環境の美化活動等、地域の安全・安心に寄与する活動を行って参りました。現在、掲げる経営理念のもと、従業員数27名で会社を運営しております。

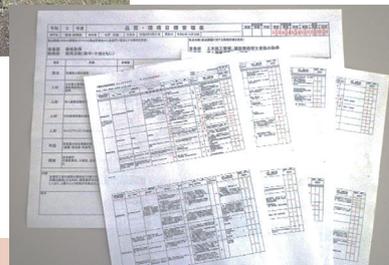
近年、国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みが世界中で始まっておりますが、地球温暖化や石化燃料の枯渇、汚染等の環境問題は、その前から世界共通の課題として挙げられておりました。そんな中、私たちも、企業活動における環境負荷を低減し、少しでも社会に貢献したいとの思いから、平成25年より環境保全へ取り組むシステムを構築し、HES認証登録を行いました。

環境改善活動としては、環境法規制等で順守すべき事項を纏めたチェックリストによる順守評価、電気・ガソリン・軽油・灯油等燃料の使用量削減対策、周辺のごみ拾いを通じた美化活動を実施しており、環境法規制等の順守率は100%、燃料使用量は全て目標値を達成、美化活動においても積極的に実施し、近隣施設より感謝状を頂いております。

今後もHESと共に環境保全活動に取り組み、社会に信頼され、貢献できる会社を目指してまいります。



清掃活動



環境目標・環境チェックリスト

所在地 網走市潮見143番地9
創立年月 昭和41年2月
TEL 0152-43-3198
FAX 0152-43-0133
E-mail suzuki@suzuki-k.co.jp

HESステップ1 HES1:0131

環境エンジニアリング株式会社

弊社は北海道の地理的中心地に近い美唄市で、道央圏を中心に産業廃棄物の処分及びそれに関するサービス提供を中心に業務を行っております。

事業運営と地球環境の保全の両立と、住み良い地域社会をSDGsとの関わりにより、環境改善活動に取り組んでまいりました。令和3年度は、目標6「安全な水とトイレを世界中に」にて、当社の事業活動の根幹に関わる、侵出水処理の確実な実施と開示及び計量所の冬季湿度50%以上を目標に、作業環境の改善を実践中です。

令和6年度末には、SDGsの5項目程度において、当社の事業活動に密接に関係する目標の抽出及び活動展開の拡大を目指しております。HESの環境目標に設定し、微力ながら、SDGsに貢献出来るよう努力し、また、施設内の標柱への反射材取り付けや荷下ろし作業の安全への取り組みを含めて、北海道環境マネジメントシステムスタンダードの運営を推進してまいります。

また、マレーシアに現地法人を立ち上げてバイオマス発電の燃料であるパームヤシ殻(PKS)を日本に輸出する事業を始めました。日本では再生可能エネルギーのうち、バイオマスの活用が進んでおりません。

PKSを日本に供給することによりバイオマス発電の成長に寄与し、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsへの取り組み

所在地 美唄市東1条北19丁目1117番地11
創立年月 平成4年10月
TEL 0126-64-3033
FAX 0126-64-3755
E-mail t-ura@kankyoe-eng.co.jp
URL http://www.kankyoe-eng.co.jp

HESステップ2 HES2:0005

国立大学法人 室蘭工業大学

創造的な科学技術で夢をかたちに」の実現のため、総合的な理工学教育を行い、未来をひらく科学技術者を育成しております。また、人間・社会・自然の調和を考えた科学技術研究を行い、知の拠点として地域や国際社会の発展に貢献することを目標としております。

平成31年4月に工学部から理工学部へ改組し、ものごとの本質を理解し、探究心を養う理工学教育をさらに充実させるとともに、ICTやAIを使いこなし、北海道のものづくり・価値づくりに貢献できる科学技術者を育成しております。これにより、「確かな研究力をベースとした教育力」で北海道を世界水準の価値創造の場へと導くことを目指しております。

本学は、平成21年にHESステップ2認証を取得し、地球環境と教育・研究の調和を追求し続けております。第一に環境保全に関する法律、規則等を順守し、エネルギー資源消費量やCO₂排出量の管理と削減に努めております。更に、教職員、地域住民が協力する地球環境を守る教育・研究活動を推進し、技術者倫理教育による社会的責任を自覚する人材の養成、環境教育と環境活動の積極的展開、環境マネジメントシステムの構築と改善等に取り組んでおります。このようなHESの取り組みを通し、関係する人々の環境意識を高め、理系国立大学の立場で持続可能な開発目標SDGsの達成への貢献を目指しております。



室蘭工業大学のSDGs達成に向けた取り組み

所在地 室蘭市水元町27番1号
 創立年月 昭和24年5月
 TEL 0143-46-5000
 URL <https://muran-it.ac.jp/>

HESステップ2 HES2:0011

ワコオ工業株式会社

当社は各種プラント用バルブ・ポンプの販売、配管・機器設置工事及びメンテナンスサービスを行っております。機器のメンテナンスという業務は、資源を有効に活用し、地球環境負荷低減につながります。よって事業運営と地球環境保全の両立を継続するためにも、住みよい北海道の地域社会の実現にむけて、環境への配慮が欠かせません。

当社がメンテナンスを行う機器のメーカーである関西の企業様が、KES(京都環境マネジメントシステムスタンダード)を取得されていたのをきっかけに、当社でも今後の環境改善活動のステップに平成27年にHES取得に挑戦致しました。電気・化石燃料・水・紙といったエネルギーの他、資材のリサイクルによる廃棄物減少や、周辺地域の清掃、そしてやはり当社の事業であるメンテナンス業務実績量を、環境目標にしております。HESの活動を通して環境関連法規を知ること、作業における安全管理や緊急事態を想定した訓練につながっていること、また季節によるエネルギー使用量の変動を施設毎に管理することで、施設毎の特性を踏まえた経費削減への施策実行につながっていることが、取り組みの成果と感じております。

今後は更に社員一人ひとりが、日々の環境改善活動が当社の事業に欠かせないことを理解して、お客様にとって有益な法規や対策を学び、より安全で品質の高いメンテナンスサービスを提供できる様に、全社員参加型で取り組みを継続していきたいと思っております。



資材の管理



整備工場内



作業環境の整備



メンテナンスの作業

所在地 札幌市白石区中央3条2丁目1-50
 創立年月 昭和45年
 TEL 011-832-5111
 FAX 011-832-2205
 E-mail sapporo@waquo.co.jp
 URL <http://www.waquo.co.jp/>

HES産業廃棄物
処理業者用システム規格
HESW:0007

エコライン株式会社

当社は、昭和42年に創業し、一般貨物自動車運送事業・一般廃棄物（伐採物、伐根等）や産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬・建設廃棄物及び産業廃棄物の中間処理を行っております。建設系産業廃棄物の中間処理施設を民間業者では、札幌市内で初めて許可を取得しております。

優良産廃処理業者認定制度に沿った高レベルの企業評価維持を目指し平成23年にHESを取得し、平成28年には優良産廃処理業者認定制度を取得致しました。

環境改善活動として、二酸化炭素排出量の削減や水資源の保全、循環型社会への対応、グリーン購入の推進を実施し、電気・水道・軽油・ガソリン使用量の削減、グリーン購入や産業廃棄物のリサイクルに取り組んでおります。令和2年度はコロナ禍で電力使用量等が増加し一部目標が達成できなかったものの、6項目中4項目で達成率100%以上となりました。

令和2年度は廃石膏ボードのリサイクルに力を注ぎ、リサイクル率の目標達成に尽力しております。

また、令和3年4月には国土交通省が創設した「働きやすい職場認証制度」にて一つ星認証を取得し、社内の職場環境改善にも努めております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、舵取りの厳しい環境が続きますが、これまで培ってきた取り組みを継続・向上し、変化に耐えられる経営基盤の確立を目指してまいります。



廃石膏ボードリサイクル

所在地 札幌市白石区川下641番地170
創立年月 昭和50年10月24日
TEL 011-874-0570
FAX 011-873-2046
E-mail kinoshita@ecoline-kk.co.jp
URL http://www.ecoline-kk.co.jp

HES産業廃棄物
処理業者用システム規格
HESW:0011

株式会社山拾村上商店

弊社は、本社工場（釧路町国営）では鉄スクラップ処理、鳥取リサイクルセンター（釧路市鳥取）では産業廃棄物の中間処理を行っております。鉄と紙のリサイクル事業、産業廃棄物中間処理業に加え、自社一貫処理体制である解体工事も行っております。令和3年6月には創業70周年を迎えました。

平成17年11月にISO14001を認証取得致しましたが、コストの削減・更なる環境活動に取り組むべく、平成26年3月にHES産業廃棄物処理業者システム規格を取得致しました。

環境方針にもあるように、原料の再資源化に力を入れています。また、電子契約・電子マニフェスト導入など電子化もすすめております。

環境意識向上のため、全従業員に環境活動方針・環境目標の周知を行い、環境に対する取り組みを理解し、実行できるように研修を行っております。

解体部門では、解体から廃棄物処理までのワンストップサービスを展開する環境負荷の少ない『ECO解体』を進めております。

令和3年11月には、SDGs宣言を策定いたしました。全部で17ある開発目標のうち、13の達成を目指しています。中でも環境に関しては、リサイクル率の向上・再生可能エネルギー導入拡大を目標にしております。

また近隣の小学校の社会見学を受け入れ、環境教育の普及啓もうに取り組んでいます。

今後も全従業員の更なる意識向上につながるよう努力してまいります。

村上商店のSDGsへの取り組み

社会 (Social)	環境 (Environmental)	企業統治 (Governance)
SDG1 貧困の撲滅 社会が豊かになって 生活が楽になり 災害に強い社会を 築く	SDG12 持続可能な消費と生産 資源を大切に 使い、ごみを減らし リサイクルを推進	SDG10 人や国の不平等を なくす 社会が豊かになり 災害に強い社会を 築く

SDGsへの取り組み



環境教育の普及啓もう

所在地 釧路郡釧路町国営2丁目5番地
創立年月 昭和26年6月
TEL 0154-36-1203
FAX 0154-36-1204
E-mail info@kami-tetsu.jp
URL https://kami-tetsu.jp/

HES認証登録事業者一覧(令和4年3月31日現在)

ステップ1 (80件)



HES1:0003	株式会社ふじ研究所
HES1:0008	丸忠北都清掃株式会社
HES1:0009	株式会社流研
HES1:0010	株式会社イーアンドエム(特定非営利活動法人ライズを含む)
HES1:0011	千歳市環境整備事業協同組合
HES1:0012	株式会社札幌振興公社
HES1:0021	中塚建設株式会社
HES1:0023	株式会社ピーアールセンター
HES1:0025	サンエス電気通信株式会社
HES1:0026	株式会社シーエーブイ
HES1:0027	株式会社サンエス・マネジメント・システムス
HES1:0031	株式会社トーホー・テクノス
HES1:0032	株式会社アペックスシステム
HES1:0034	株式会社環境整備公社
HES1:0035	土屋工業株式会社
HES1:0037	昭和工業株式会社
HES1:0039	坂野建設株式会社
HES1:0040	西岡建設株式会社
HES1:0041	株式会社アロー建設
HES1:0042	飯田建設株式会社
HES1:0046	株式会社佐々木建設
HES1:0048	建成興業株式会社 生産工場
HES1:0049	村上土建開発工業株式会社
HES1:0050	株式会社ドウテック
HES1:0051	恵庭建設株式会社
HES1:0057	株式会社増山建設
HES1:0060	茅沼建設工業株式会社
HES1:0062	株式会社出口組
HES1:0064	株式会社住まいのウチイケ
HES1:0065	株式会社M z 原田
HES1:0066	総合設備株式会社
HES1:0069	札幌川重車両エンジニアリング株式会社
HES1:0071	株式会社トーシン
HES1:0072	株式会社菊水
HES1:0074	佐藤建設管理株式会社
HES1:0076	株式会社大野組
HES1:0079	近藤建設株式会社
HES1:0081	株式会社富士サルベージ

HES1:0082	株式会社谷組
HES1:0083	吉建設株式会社
HES1:0085	大野土建株式会社
HES1:0086	株式会社永井組
HES1:0087	白木建設工業株式会社
HES1:0092	株式会社小林組
HES1:0093	株式会社草塩建設
HES1:0094	株式会社アラタ工業
HES1:0095	株式会社大坂建設
HES1:0097	株式会社坂下組
HES1:0101	徳井建設工業株式会社
HES1:0102	公益財団法人札幌市公園緑化協会
HES1:0104	鈴木工業株式会社
HES1:0105	株式会社森川組
HES1:0106	和工建設株式会社
HES1:0109	幌村建設株式会社
HES1:0110	株式会社苫小牧清掃社
HES1:0111	株式会社工藤組
HES1:0112	岡本興業株式会社 開発事業部
HES1:0113	株式会社札幌中央清掃社
HES1:0114	北海道ペットボトルリサイクル株式会社
HES1:0115	株式会社藤岡建設
HES1:0116	武夕技建創株式会社
HES1:0117	伊藤アスファルト建設株式会社
HES1:0118	株式会社北海道造園コンサルタント 本社、事務所、事業所
HES1:0119	株式会社かきぬま工務店
HES1:0120	環境コンサルタント株式会社
HES1:0121	石黒建設株式会社
HES1:0122	ガイア工業株式会社
HES1:0123	柴田興産株式会社
HES1:0124	株式会社大宮ホーロー北海道製作所 本社
HES1:0125	有限会社厚岸清掃社
HES1:0126	光建工業株式会社
HES1:0127	アイ・リンク株式会社 本社
HES1:0128	株式会社野田組
HES1:0129	三共舗道株式会社 本社
HES1:0130	渡部建設株式会社
HES1:0131	環境エンジニアリング株式会社
HES1:0132	イチエイ山田建設株式会社
HES1:0133	株式会社協成建設
HES1:0134	タニケン工業株式会社
HES1:0135	株式会社阿部組

ステップ2(10件)



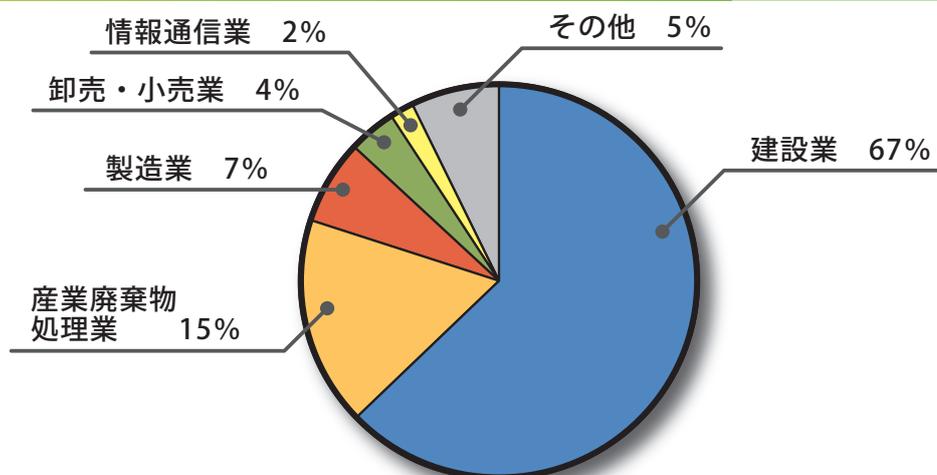
HES2:0001	トルク精密工業株式会社
HES2:0004	佐々木機工株式会社
HES2:0005	国立大学法人室蘭工業大学
HES2:0006	株式会社NICHIGO
HES2:0007	株式会社ジーエス・ユアサバッテリー 北海道支店
HES2:0008	千代田電装工業株式会社
HES2:0009	三晃金属工業株式会社 建材事業部 江別製作所
HES2:0010	三堅工業株式会社 札幌工場
HES2:0011	ワコオ工業株式会社
HES2:0012	株式会社新宮商行 銭函工場

産業廃棄物処理業者用システム規格(8件)



HESW:0002	道央衛生株式会社
HESW:0005	株式会社エース・クリーン
HESW:0007	エコライン株式会社
HESW:0009	函館環境衛生株式会社
HESW:0010	株式会社エヌ・ケーエンジニアリング
HESW:0011	株式会社山拾村上商店
HESW:0013	札幌第一清掃株式会社 発寒エコセンター
HESW:0014	株式会社丸興産業

HES認証・登録業種別割合(令和4年3月31日現在)





1. 審査及びコンサルティング標準料金

令和元年10月1日現在

区分	事業者規模	ステップ1		ステップ2及び 産業廃棄物処理業者用システム規格		
		料金(税込)	登録審査員・時間	料金(税込)	登録審査員・時間	
審査	新規登録	一般事業者	88,000円	書類1名4時間(1回) 実地1名7時間(1回)	215,600円	書類1名4時間(1回) 実地1名14時間(1回)
		小規模事業者	55,000円	書類1名3時間(1回) 実地1名6時間(1回)		
	定期	共通	38,500円	実施1名4時間(1回)	66,000円	実施1名4時間(1回)
	更新	一般事業者	77,000円	実施1名7時間(1回)	99,000円	実施1名7時間(1回)
		小規模事業者	55,000円	実施1名6時間(1回)		
	臨時 変更	共通	別途積算		別途積算	
コンサルティング	共通	55,000円	1名計12時間 (1回4時間×3回)	99,000円	1名計16時間 (1回4時間×4回)	

- 注1 エイチ・イー・エス推進機構でいう小規模事業者とは、常時使用する従業員の数が20人(商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については、5人)以下をいいます。
 2 本料金表は標準的なものであり、組織の規模等により審査のための人員又は時間(日)の増加が必要となる場合は、別途積算します。
 なお、標準的なものとは、おおむね従業員数が100人以下であって、かつ、サイト数が1である組織をいいます。
 3 登録審査員が対象サイトまで移動する、又はサイト間を移動するなど交通費が必要な場合には、別途交通費の実費を加算します。
 4 遠方での審査及びコンサルティングで宿泊を伴う場合は、別途宿泊費の実費を加算します。

2. 構築講座受講料金

開催区分	料金(税込)	日数
集団	11,000円	1回(6時間まで)
個別	22,000円	1回(3時間を超え6時間まで)
	11,000円	1回(3時間まで)

- 注1 受講料は1社・団体当たりの料金です。
 2 テキスト代として、受講人数分を別途申し受けます。
 3 エイチ・イー・エス推進機構会則(平成16年7月20日施行)第5条に規定する会員については、開催区分が集団の場合に限り無料で受講することができます。
 4 開催区分が個別の場合にあつては、講師派遣に伴う交通費、宿泊費、会場費等の実費を負担していただく場合があります。

3. 関係資料

認証登録にあたり、適用する規格により以下の資料が必要となりますので、ダウンロードをお願い致します。

URL:<https://www.hokkaido.cci.or.jp/hes/hanbai.html>

名称	摘要		
	ステップ1	ステップ2	産廃業者用規格
北海道環境マネジメントシステムスタンダード システム規格書	○	○	
北海道環境マネジメントシステムスタンダード 産業廃棄物処理業者用システム規格書			○
北海道環境マネジメントシステムスタンダード 構築の手引き	○	○	○
北海道環境マネジメントシステムマニュアル サンプル ステップ1	○		
北海道環境マネジメントシステムマニュアル サンプル ステップ2		○	
北海道環境マネジメントシステムマニュアル サンプル 産業廃棄物処理業者用システム規格			○



エイチ・イー・エス推進機構 (事務局:(一社)北海道商工会議所連合会)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター

TEL:(011)241-6733 FAX:(011)231-0726

E-mail:hes@hokkaido.cci.or.jp